

家族と暮らせない子どもたちを ともに支えるために。

貧困や親の病気、近年増え続ける児童虐待、育児放棄など、様々な理由で家族と暮らせない子どもたちが増え続けています。「家族と暮らせない子どもたちをともに育む社会」や、子どもの村に関心のある方、ボランティアとして活動に参加したい方、子どもの福祉に関心のある方、子どもたちをともに支える方のための研修会です。

●期間：2011年4月～12月(全6回) *途中参加でも歓迎します。

●場所：福岡市こども総合相談センター7F 視聴覚室

■定員：80名 ■参加費：全回通し 2,500円(資料代) (1回の参加 500円)

第1回 4/17(日) 13～16時

「家族と暮らせない子どもたちをはぐくむ福岡市の取組 ～今までとこれから」

講師：藤林武史(福岡市こども総合相談センター所長)

第2回 6/19(日) 13～16時

「子どもの権利条約と国連オルタナティブ・ケア・ガイドラインの実践」^{*}

講師：山本裕子(西南学院大学社会福祉学科 准教授・(特)子どもの村福岡 理事)

第3回 8/21(日) 13～16時

「子どもの発達を保障する愛着の絆」

講師：満留昭久(国際医療福祉大学 副学長・(特)子どもの村福岡 理事長)

第4回 10/16(日) 13～16時

「実親と暮らせない子どもたちの ころ・発達・支援」

講師：松崎佳子(九州大学大学院人間環境学研究院 教授・(特)子どもの村福岡 常任理事)

第5回 11/20(日) 13～16時

「生活・習慣・家庭 ～家庭で生活すること(仮)～」

講師：横堀昌子(青山学院女子短期大学子ども学科 准教授)

第6回 12/18(日) 13～16時

「実親を理解し支援するために」

講師：河浦龍生(福岡市こども総合相談センター こども緊急支援課長)



—すべての子どもに愛ある家庭を。
A Loving Home For Every Child—

特定非営利活動法人

子どもの村福岡

「子どもの村」は、親の病気や貧困、虐待や育児放棄など様々な理由で家族と暮らせない子どもたちのために、新しい家庭をつくり、地域とともに育てています。2010年4月に福岡市西区今津に誕生した、日本初の『SOS子どもの村』です。

子どもの村福岡は、
日本で初めての
SOS子どもの村です。



SOS子どもの村は、「すべての子どもに愛ある家庭を」をスローガンとして、1949年第2次世界大戦後のオーストリアで始まりました。戦争で親を失った子どもたちのための活動は、その後、戦争や災害、エイズなど各国の状況を背景に世界133ヶ国に広がりました。現在、子どもの権利尊重を核として、様々な活動を展開する子どもに関する世界最大のNGOです。

* 国連オルタナティブ・ケア(代替的)ガイドライン

2010年2月、国連により「子どものためのオルタナティブ・ケア・ガイドライン」が制定されました。実親と暮らせない子どもたちのオルタナティブ・ケア(代替的養育)の世界共通の基本指針となるものです。その中では、子どもが親と暮らす権利があることやオルタナティブ・ケアの第一選択肢である里親養育の重要性、実親支援の必要性が明確に打ち出されています。

子どもの村は、このガイドラインを実際に形にしていくための様々な活動を行っていきます。

◇会 場: 福岡市子ども総合相談センター
福岡市中央区地行浜2-1-28
Tel. 092-832-7830

- ◆地下鉄 唐人町駅
下車徒歩15分
- ◆西鉄バス 福岡ドーム前
下車徒歩5分

お問合せ、お申込みは

(特)子どもの村福岡 事務局 〒810-0054 福岡市中央区今川2-14-3
Tel. 092-737-8655 Fax. 092-737-8665 E-mail. fukuoka@cv-f.org

先着順、定員になり次第締め切り

子どもの村福岡研修会 参加申込書

F A X : 0 9 2 - 7 3 7 - 8 6 6 5

フリガナ	-----	
氏 名	-----	
連絡先	住所 〒	-----
	<input type="checkbox"/> 自宅	-----
	<input type="checkbox"/> 職場	-----
	TEL	FAX
	E-mail	
所 属	-----	
参加希望	参加をご希望の回に○をつけてください。 全回参加 ・ 第1回 ・ 第2回 ・ 第3回 ・ 第4回 ・ 第5回 ・ 第6回	